

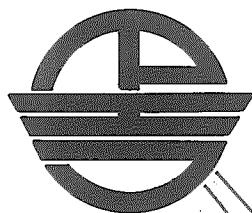


模擬登校

(姶良小学校正門前にて)

新設された小学校……。

子どもたちは夢と希望を持って元気に登校



広報あいら

No. 192号 昭和55年3月31日発行

……おもな内容……

- | | |
|-------------|--------|
| 昭和55年度施政方針 | 2~3ページ |
| 41億円の台所をさぐる | 4ページ |
| 議会関係 | 5ページ |
| 広げよう“心”の輪 | 6ページ |
| 公共建設 | 7ページ |
| 友だちをつくろう | 8ページ |
| 待望のバス開通 | 9ページ |
| お知らせ | 10ページ |

町の人口動態

(3月31日現在) () 内は前月比

世帯数	10,377戸 (+23戸)
人 男	14,976人 (-14人)
人 女	16,527人 (+24人)
口 計	31,503人 (+10人)
3月の	{ 出生 28人 死亡 21人 転入 514人 転出 511人

発行 鹿児島県姶良町

編集 総務課

⑦ 899-54 ⑧ 09956 ⑨ 3111

鹿児島県姶良郡姶良町宮島町25番地

梅木逸郎

四項目の課題を重点 地方の時代の実現化に努力



岩根町長

昭和55年度
施政方針

八十年代の幕あけとも言われる昭和五十五年度第一回定例町議会が、昭和五十五年三月十一日から十八日間の会期で開会されました。開会にあたり、若根清春町長は「地方の時代」を現実的にとらえ、今後の町政に対する所信の一端を表明し、住民自らの手で作る地方自治と各予算の概要について説明しました。

本目標であります「市民がひとしつく、豊かで生きがいのある郷土の建設」においては、人間愛を基本理念として町政を担当してまいりました。過去五ヵ年間の町政発展に微力ながらつくしてまいりました。幾多の経験と反省を生かして市制施行への足がかりにすること

地方自治をとりまく情勢は極めてきびしいものがあります。 「地方の時代」を現実化するため、町民のみなさんの英知を結集し、積極的に町政を推進してまいりたいと存じます。

また国・県・地方をとわず、きびしい財政難の時代であり、その収支の不均衡打開策に全力を傾けてまいりたいと存じます。

財政の健全化を進めるために、地方政府が地方交付税の原資の借入れと財源対策債の発行で、かううじて収支の均衡が保たれている状況を十分認識し、行政の効率化と簡素化を進めてまいりたいと存じます。

びに合理化と歳入面における受益者負担の適正化等により、限られた財源の重点的かつ高率的な配分を行い、山積された難問に取り組んでまいりたいと存じます。

快適で住みよい 生活環境の整備

人「急増の町として快適な生活環境の整備が急がれています。この問題は莫大な財源と日時を要し、幾多の困難が予想されます。が、姶良町振興計画の基本構想の実現のために真剣に取り組んでまいりたいと存じます。

や改善を年次的に行い、住宅・商業・工業の市街地としての環境づくりを促進してまいりたいと存じます。

前年度実施しました帖佐第一地区の区画整理事業九十七ヘクタールについて、今年度は一步前進し、昭和五十六年度より都市計画法による土地区画整理事業に着手できることを努力してまいりたいと存じます。

また、重富第三地区約七十八ヘクタールについても事業化を図つてしまいたいと存じます。

公園整備については、(仮称)西宮島公園の整備と船津公園の整備を図り、町民の協力を得ながら「緑のマスター・プラン」に基づいて調和のとれた点在する児童公園とし、近隣公園の整備に努めてまいります。

都市幹線排水路の整備と公共下水道については、阪神二・三丁目といと存じます。

都市幹線排水路の整備と公共下水道について、都市化する町の関連があり将来重複をさける方向で整備してまいりたいと存じます。今年度は、南宮島区画整理事業区域の幹線排水路の整備として、国道一〇号線のバイパス予定線の地下埋設を中心に実施してまいりたいと存じます。

公共下水道につきましては、昨年度に引きつき「流域関連公共下水道方式」を検討努力してまいりたいと存じます。

上水道大型水源確保につきましては、一日平均二万立方メートル以上の水源確保は河川表流水にたよる以

外に方法はないということに計画しました。
府川から取水することに計画しました。
現在、全力を注ぎ水利権、事業認可、着工、通水という順序に努力しております。
また、開発公社を通じて浄水場用地の確保に力を注いでいますが、当初計画の昭和五十七年四月からの通水の予定が若干遅れることを予想されます。
しかし、ここ二、三年の間は、現在の水源施設を補強することと十分給水できる状況ですので不足を期さないよう努力してまいりたいと存じます。
道路交通通信網体系の整備促進につきましては、毎年重点施策として取りあげ財源の許す限り積極的に取り組んでまいりました。本年も辺地債や道路整備債、補助事業等を十分活用し、生活道路の整備に投じる努力をしてまいりました。

道路網体系の整備は、関係機関と連絡をとりながら道路標識や号機の設置に努力してまいりたいと存じます。

通信網については、三船地区の一部と山田地域の地域集団電話を普通電話への切り替え促進に努力してまいりたいと存じます。

広域行政につきましては、始動西部四町（一部吉田町含む）実施中のし尿処理・塵芥処理・火葬場・常設消防・救急業務の広域行政に積極的に努力してまいりたいと存じます。

未来をひらく 教育の充実

生涯教育を通じて郷土のもつ良い伝統や教育的風土の中で、健康で創造性をもち、社会の進展に寄与し教育の振興に努めてまいりたいと存じます。

幼児から老人に至るまで、生涯を通じて教育の機会が与えられるよう施設の整備・改善をはかってまいりたいと存じます。

幼稚教育の充実につきましては義務教育の前段階として、人間形成上大事な時期でもあります。教職員の充実と質の向上につとめ、また、就園奨励補助を昨年に引き続き行い公立・私立をとわず就園の機会の拡充をはかつてまいりたいと存じます。

学校教育につきましては、学習指導の充実徹底を期し、基礎学力の向上と保健体育や生活指導の充実をはかり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

今年度は、昨年発足しました姶良小学校の屋内運動場、水泳プールの新設、重富小屋内運動場の改築、帖佐小学校鉄筋校舎の窓枠取替工事等に力を注いでまいりたいと存じます。

また、今年度新たに建昌小学校に「言語障害児の教室」始良小学

校に「特殊学級」を開設して特殊教育の充実に努めてまいりたいと存じます。

授学生の範囲も大学生まで拡大し、多くの学生、生徒に貸与してまいりたいと存じます。社会教育につきましては、みんなが学び、みんなが参加できるよう等を大いに活用し社会教育、社会体育に努力してまいりたいと存じます。

高齢者の生きがい対策を兼ねて和牛生産牛の貸付事業や町優良牛保留制度を強力に推進してまいりたいと存じます。

さらに、集落環境施設整備事業として、三叉地区に集会施設を設置し、農村振興運動を展開してまいりたいと存じます。

長年継続実施してまいりました県営は場整備事業も面整備も終り本年は、幹線農道舗装、幹線用水路工事、登記事務等に積極的に取り組み、農家自らが自立自興の意欲をもつよう関連団体と連携を密にして努力してまいりたいと存じます。

林政につきましては、森林組合と密接な連携をとりながら、あらゆる補助事業の導入等により、林道、作業道等の整備をはかり、生産性の高い林地帯を育成して林業の意欲を盛りあげるよう努力してまいりたいと存じます。

しかし、本町の南地域は都市化

になり、極めてむずかしい状況にあります。

米の生産調整による転作面積も

○六ヘクタールが割り当てを受けました。

米に代るべき適切な作物を農協や技連会が一体となつて、定着化を図るためキヌサヤエンドウ、大豆、カボチャを奨励してまいりた

まです。

商工、水産、観光につきましては、人口増加と併せて都市化が進む中で、商店街の環境づくりが急務です。商工会を中心として地域小商業近代化対策調査事業を実施し、都市化の発展に努力してまいりたいと存じます。

がれますので、商工会を中心と

します。

森林経営計画の編成年度にも当

ります。

つていますので、町全般的な森林

の保護に努めてまいりたいと存じ

ます。

心の通った福祉を実現するためには、対象者を暖かく迎え入れ、周囲の思いやりが必要となると存じます。

心の福祉が得られるよう、お年

寄りやこども、心身障害者、母子

父子家庭など社会的に弱い立場に

ある人や、恵まれない人々が家族

や地域社会に支えられるよう努力

してまいりたいと存じます。

母子・父子家庭等に対する医療

費助成、児童福祉の向上につとめ

る法人立保育所に対する施設費償

還金の一部助成、ひとり暮らしの

老人に対して福祉電話の設置事業

等に力を注いでまいりたいと存じます。

水産業につきましては、錦海漁協の育成強化と魚礁の投入で魚族の資源確保に努め栽培漁業の推進に力を注いでまいりたいと存じます。

「夏まつり」一町内で働く者の激

闘大会等も実施し、町内で働く

従業員の定着化を図つてまいりた

まです。

また、別府川、思川の内水面漁業にも努力してまいりたいと存じます。

また、別府川、思川の内水面漁業にも努力してまいりたいと存じます。

観光につきましては、観光各所の美化に努め、町内観光史跡等を充実してまいりたいと存じます。

「白銀の坂」の遊歩道整備、烏帽子岳登山道の整備に力を注いで

まいりたいと存じます。

繁縝財政の転換を余儀なくされ

ましたために、一層創意工夫をこ

らし、町政を担当してまいりたい

と存じますので、町民のみなさま

の深いご理解とご協力をお願ひし

ます。

産業経済の振興

経済混迷の中で、農政、林政、商工、水産、観光をとりまく諸々の問題点解決に積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

一般農政につきましては、本町は第一次、第二次農業構造改善事業を導入し、基盤整備や農業機械等の近代化が推進されて、水田裏作等が容易可能な耕地となりました。

水産業につきましては、錦海漁協の育成強化と魚礁の投入で魚族の資源確保に努め栽培漁業の推進に力を注いでまいりたいと存じます。

また、別府川、思川の内水面漁業にも努力してまいりたいと存じます。

山積された福祉問題等について積極的に取り組み改善してまいりたいと存じます。

以上施政の一端を述べましたが

町民の要望に応え急を要する問題

は極力予算化し実施してまいりた

いと存じます。

しかし、本町の南地域は都市化山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も変わり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

しかしながら、本町の南地域は都市化山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も変わり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

しかし、本町の南地域は都市化山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も変わり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

しかし、本町の南地域は都市化山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も変わり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

しかし、本町の南地域は都市化山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も変わり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

しかし、本町の南地域は都市化

山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も

変わり、施設・設備の充実に努めて年次的に解決してまいりました。

しかし、本町の南地域は都市化

山間地域は休耕地から山林転用へ農地が変化する中で、経営型態も

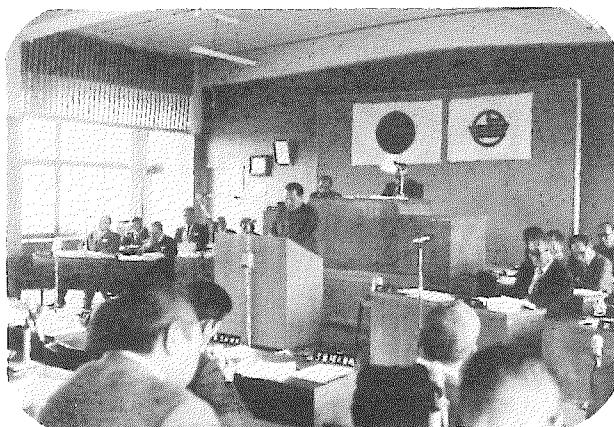
</

昭和55年度一般会計当初予算

41億円の台所をさぐる

歳出			歳入		
10億	5億	1億	1億	5億	10億
8億684万円			地方交付税	11億5,500万円	
7億2,657万円			町 税	10億3,178万円	
5億5,140万円			国庫支出金	7億4,323万円	
4億7,535万円			町 債	5億9,040万円	
4億4,241万円			県支出金	2億7,580万円	
4億3,115万円			財産収入	1億1,930万円	
2億2,477万円			地方譲与税	5,910万円	
1億6,337万円			使用料及び手数料	5,222万円	
1億3,506万円			諸 収 入	4,971万円	
1億6,755万円			分担金及び負担金	3,105万円	
7,955万円			自動車取扱得税交付金	2,790万円	
2,378万円			その 他	351万円	
合計 41億3,900万円			合計 41億3,900万円		

老人福祉センター管理委託料 一千九百万円	土木費 五百二十万円	老人福祉センター管理委託料 一千四百万円
部落納稅獎勵金 五百二十万円	私立保育所関係扶助費 一億三千五百九十九万円	道路新設改良費（工事請負費） 一億七千百三十万円
参議院議員選挙費 四百八十三万円	重度心身障害者医療扶助 九百四十三万円	公有財産購入費二千三十三万円
民 生 費 一千九百五十八万円	各種予防接種経費 一千五百四十七万円	橋梁新設費 二千百万千瓦
町社協補助金 四百九十二万円	二次救急醫療施設運営費 四百四十万円	都市下水路排水路整備工事費 七千五百万円
重度心身障害者医療扶助 九百四十三万円	木場地区飲料水供給施設事業費 二千九百五十八万円	船津公園造成事業費 二千六百万円
民 生 費 一千九百五十八万円	西部衛生処理組合負担金 (廻芥) 五千四百六十六万円	住宅建設費（工事請負費） 二億八十四万円
町社協補助金 四百九十二万円	(屎尿処理費) 四千四十九万円	消防費
重度心身障害者医療扶助 九百四十三万円	失業対策事業費 一億二千九百六十一万円	西部消防組合負担金 一億七百二十六万円
民 生 費 一千九百五十八万円	労働費 一億二千九百六十一万円	教育費 三千六百万円
町社協補助金 四百九十二万円	労働諸費 三千三百七十五万円	育英事業貸付金 三百三十万円
重度心身障害者医療扶助 九百四十三万円	農林水産業費 六千三万円	帖佐小窓枠取替工事費 二百萬円
民 生 費 一千九百五十八万円	農業振興資金利子補給 一千八十二万円	学校建設費（姶良小屋体・ブル・重小屋体並びに敷地造成工事） 三千六百万円
町社協補助金 四百九十二万円	和牛生産素牛購入資金貸付金 五百萬円	言語治療教室設備充実事業費 二百萬円
重度心身障害者医療扶助 九百四十三万円	県営ほ場整備事業第三工区負担金 二千一百三十一万円	私立幼稚園就園奨励補助金 二億八千九百三十七万円
民 生 費 一千九百五十八万円	イノシシ電気柵設置事業費 三百三十六万円	耕地災害復旧費 一千八十四万円
町社協補助金 四百九十二万円	林道城山線開設（工事請負費） 一千四百六十万円	災害復旧費 一千八百九十二万円
重度心身障害者医療扶助 九百四十三万円	木津志地区林道整備（工事請負費） 二千七百三十万円	過年度災害復旧費（寺師ほか二 十件）工事請負費 七千四百六十七万円
民 生 費 一千九百五十八万円	重富海岸（漁港）鋪装工事費 三百六十万円	公債費 四億四千二百四十一万円
町社協補助金 四百九十二万円	夏まつり振興補助 百八十万円	



議案内容を説明する町長

り、私立の保育所に対して助成を行い、社会福祉の充実をはかつていこうとするものであります。

このような社会福利法人に対して助成措置が実施されている箇所も、昌内ですでに四市一〇町です。

昭和55年

第1回町議会

大学生にも育英資金貸付 塵芥処理手数料を 全納方法に改め

昭和五十五年第一回定例町議会が昭和五十五年三月十一日から会期十五日間で開会され、始良町の基本構想を定めた。この件は、始良町の条例制定の件ほんとうに関する条例制定の件である。慎重審議が重ねられ、全般にわたる條例制定の件である。

第一回定期町議会で可決成立した主なものは、次のとおりです。
始良町の基本構想を定める件
昭和六十年代市制施行をめざし「人間愛あふれる豊かな活力あるみどりのまち」建設の基本的な考え方を示すものです。行政の長期にわたる振興計画を体系化して、町の飛躍的発展を行なおうとするものです。

姶良町社会福祉法の助成に関する条例制定の件

始良町塵芥処理手数料徴収条例の全部を改正する条例の件

等級	金額	摘要
1級	3,600円	病院、工場、料理店、旅館、商店等で塵芥が多量に発生するところ
2級	2,160円	食堂、製造業、その他1級について塵芥が多量に発生するところ
3級	1,200円	普通店舗等
4級	720円	一般世帯

条例の一部を改正する
始良町敬老人年金支給
条例

英資金貸与条例の一部
の範囲を「高等学校又は中学校」から「高等専門学校又は大学」まで広
く、金額も高等学校においては月額七千円、高等専門学
校では月額一万円を貸す
なりました。

給されていましたが、今回の改正により、敬老金として八十歳以上八十四歳までを三千円が四千円に八十五歳以上八十七歳までを五千円から七千円に、また八十八歳から九十九歳までを一万円を一万五千円に増額したものです。

始良町営住宅家賃徴収条例の一部を改正する条例の件

昭和五十四年度に八日町団地に建設された、四階建の町営住宅の家賃を二万一千円に定めたもので

広報から お知らせ

△係では、よい広報紙を作る
ために、皆さんからのご意見
ご要望をお待ちしています。
△また、自分の知っているこ
とで、町民に知らせたい事な
どありましたら、お知らせく
ださい。

広げよう“心”の輪

ボランティア活動に1人でも多く

「困っている人がいれば、お手伝いしたい」というのは、人間としての朴素な気持ちであるはずです。体の不自由な人々は現在、全国で「百万人以上いるといわれています。体の不自由な人々の日常生活を助け、社会参加できるようお手伝いする方法として、ボランティア活動があります。町民憲章にも「心をあわせ、きれいな町をつくります」とあります。あなたもボランティア活動をはじめてみませんか。

心のつながりが何よりもたいせつ

高度福祉とよく言われますが、いろいろな施設が数多く設けられれば、高度福祉と言えるでしょう。

制度を充実したり、保護を拡大したりするほか、真の福祉をつくり出すエネルギーをたくわえることも、大切なことです。

そのエネルギーこそが、ボランティアです。

社会的に弱い立場におかれている人たちも、ともに希望のもてる社会、だれでも持っている魅力が最大に生かされる社会、そこに、「高度福祉」の目ざす方向があるのではないか。じょうう。

国で「百万人以上いるといわれています。体の不自由な人々は現在、全国で「百万人以上いるといわれています。体の不自由な人々の日常生活を助け、社会参加できるようお手伝いする方法として、ボランティア活動があります。町民憲章にも「心をあわせ、きれいな町をつくります」とあります。あなたもボランティア活動をはじめてみませんか。

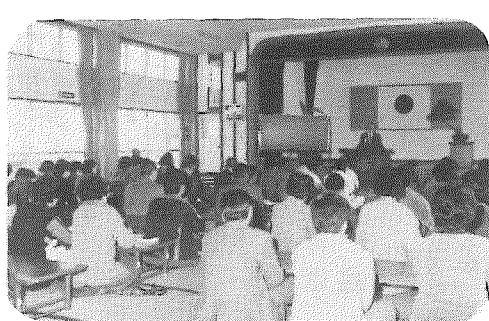
「困っている人がいれば、お手伝いしたい」というのは、人間としての朴素な気持ちであるはずです。体の不自由な人々は現在、全国で「百万人以上いるといわれています。体の不自由な人々の日常生活を助け、社会参加できるようお手伝いする方法として、ボランティア活動があります。町民憲章にも「心をあわせ、きれいな町をつくります」とあります。あなたもボランティア活動をはじめてみませんか。

保護内容の充実、人間関係の心のつながりが、これから福祉社会で何よりたいせつになることでしょう。

あなたも ボランティアの仲間

二月二十五日町のボランティア活動を行っているかたがたが、老人福祉センターに集まり、お互いの活動を検討しました。高齢化社会に移向しつつある世の中、心のふれあいを求めるかたや身の回りの環境づくりに精を出し「自分のこととして」社会に奉仕を行なう仲間たちの活動勉強会でした。

社会福祉の充実しつつある社会で、ボランティアのはたす役割は大きいものがあります。制度の不十分な点を補完し、地



学習風景

気楽に話せる三役室に

庁舎の一部を増改築



モダン化した庁舎

ダランな姿に変装しました。

今回増改築されたのは、会計課（収入役室兼）、町長室、助役室等であり、総工費二千九百九百万円を要して近代的な明るい事務室になりました。

以前は、町の台所を扱う会計課（収入役室兼）等が狭く、混雑した中で事務整理が行われ、会計課利用者にご迷惑をかけていました。

あなたの回りを見回わして、自分でできることが数多く存在しているのではないか。じょううか。

あなたにもできる「小さな親切」…一つのボランティアです。

あなたの回りを見回わして、自分でできることが数多く存在しているのではないか。じょううか。

あなたにもできる「小さな親切」…一つのボランティアです。

明るい町民としてのうるおいある大きな輪をお互いに作っていきたいものです。

役室が整備され、「気楽に話せる町長室・助役室」として、町民のみなさんの手作りの町づくりに活用してほしいものです。



後列右から山下さん・宮脇さん・白尾君

新設始良小など完成 簡保・運用部資金などで

九州、山口各県学校図書館協議会主催による、西日本読書感想画コンクールがこのほど福岡県福岡市で行われ、本町の重富中学校が努力賞また、重富中学校・帖佐中学校から三〇人が入賞しました。その中で、三人が晴れの栄誉ある優秀賞をかちとりました。

このコンクールは、一つの図書を熟読してその感想を一枚の絵に表現するものです。

九州、山口各県から寄せられた約五〇万点にも及ぶ作品で、各県の地方予選を通過した高度な力作ぞうでした。

審査は指定図書の部・自由読書の部に分けて行われました。

県下に誇る重富中・帖佐中 西日本読書感想画コンクール

この輝しい入賞者の中に、本町の重富中学校から指定図書の部の優秀賞に山下美代子さん、白尾克己君、自由読書の部の優秀賞に宮脇順子さんに表彰状と自画の記念パネルが贈られました。

一つの学校から数多く入賞したのは珍しく、県下に誇る重富中学校・帖佐中学校の栄誉をたたえたいものです。

みなさんも「本を読むだけではなく、その本の感想を一つの絵にまとめてみませんか……。」

始良小学校

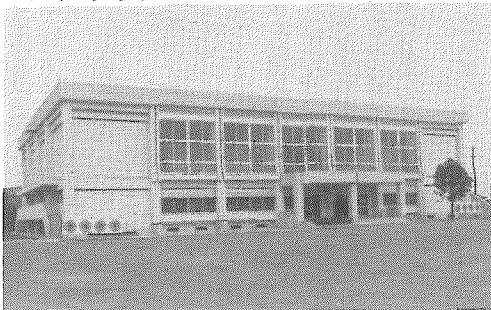
(運用部資金)



工期 昭和54年8月12日～昭和55年3月20日
面積 建物 3,342平方メートル
敷地 3,0217平方メートル
総建築費 3,7280万円
国庫補助金 2,4168万円
起債額 1,2370万円
内容 教室18 職員室 図書室
音楽室 家庭科室 理科室

建昌小学校屋内体育館

(運用部資金)



工期 昭和54年8月12日～昭和55年2月15日
面積 1,100平方メートル
総建築費 1,2727万円
国庫補助金 4,178万円
起債額 6,930万円
内容 体育教官室 用具室 ステージ及び
控室 観覧席 体育室

昭和五十四年
度の公共建設事
業である、始良
小学校・建昌小
学校屋内体育館
山田中学校校舎
公営住宅が完成
しました。

これらの公共
建設は、地域の
発展を先行する
もので、年次的
に企画立案され
建設されていま
す。

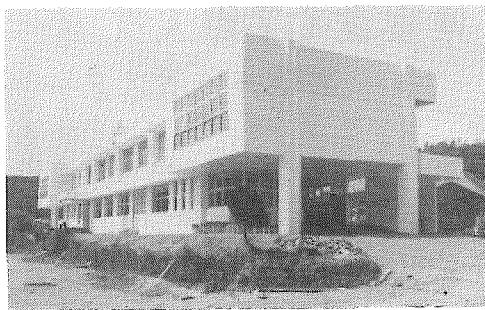
このようないくつかの方法で、省の運用部資金・郵政省の簡易保

立金等が大きな財源とな
り活用されています。
町内のいたるところの道路・建

物等の公共建設事業のほとんどが
このような財源処置で行われてい
ます。

山田中学校校舎

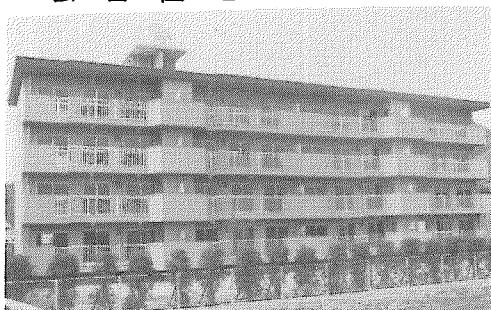
(運用部資金)



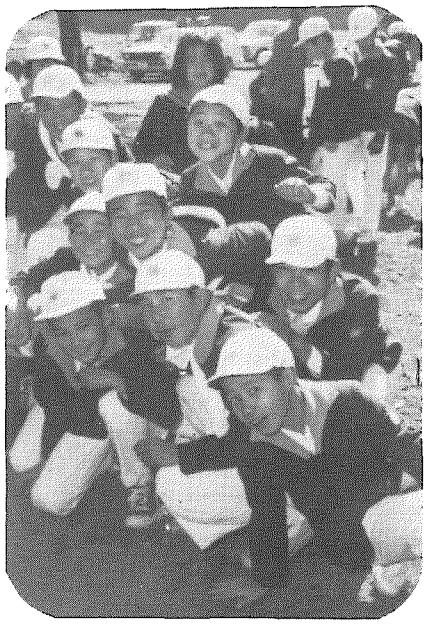
工期 昭和54年8月12日～昭和55年2月15日
面積 962平方メートル
総建築費 1,0613万円
国庫補助金 3,359万円
起債額 6,830万円
内容 教室3 職員室 図書室 特別教室
保健室

公営住宅

(簡易保険融資)



工期 昭和54年9月25日～昭和55年3月20日
面積 1,087平方メートル
総事業費 14,096万円
国庫補助金 7,528万円
起債額 6,160万円
内容 中層耐火構造四階建
第二種公営住宅 16戸



春 新学期 友だちをつくろう

新学期が始まりました。

新入学の一年生は、初めての学校生活で、めづらしさと期待感に胸をふくらませながらも、一方では慣れない集団生活に緊張したり不安な思いにかられることもあるでしょう。

新入生にかぎらず、学校生活を明るく楽しくするには、一日も早く、まず仲のよい友だちをつくることです。

折から四月は、クラスの編成替えがあつて新しい顔ぶれがそろいます。新学期……それは新しい友との出会いが芽生える時といえましょう。

新しく芽生える友だちを大切に見守ってやることが親として大事なことではないでしょうか。

県審査で7点入賞

選挙啓発ポスター

きれいな選挙、明るい選挙を呼びかける「昭和五十四年度の選挙啓発ポスター」の募集が行われ、町内の各小・中学校から二九六点もの力作が応募されました。

厳しい審査の結果、県内で四〇点の入賞作品があり



入賞したみなさん

ましたが、その中で始良町から特選三點・入選四点・計七点が入賞

きりいな選挙、明るい選挙を呼びかける「昭和五十四年度の選挙啓発ポスター」の募集が行われ、町内の各小・中学校から二九六点もの力作が応募されました。

厳しい審査の結果、県内で四〇点の入賞作品があり

しました。

入賞した作品は、明るい選挙に望みを託した力作ぞろいでした。選挙する一人ひとりが、子どもたちの願いを心に刻み、明るい選挙を実行しましょう。

入賞者は次のとおりです。()の学年は昭和五十四年度現在です。

特選

吉盛 一彦(帖佐小五年)

茶園 律子(重富中三年)

有川 洋海(重富中三年)

入選

窪田 洋子(重富小六年)

楠田 秀史(重富中三年)

原田 みな子(重富中三年)

西 由美子(帖佐中三年)



「モモの節句」の三月三日老人福祉センターで三六組の合同金婚

目頭に光る涙 合同金婚式

式が厳粛な中で盛大に催されました。

「キンランどんすの帶しめながら…」の音楽の音が流れる中で、結婚後五〇年を迎えるカップルが人生二度目の三三九度の献盃を交わしました。

明治・大正・昭和の困難な時期に、共に手をたずさえて社会に貢献された夫婦のきずなは尊い人生観にあふれています。

献盃を受ける姿も、感無量で目頭に光るもの浮べる夫婦、盃を握る手も振えている夫婦、加護の手を借りて壇上に昇る夫婦等五〇年の歳月がうかがわれました。

ましたが、その中で始良町から特選三點・入選四点・計七点が入賞

ました。

入賞した作品は、明るい選挙に望みを託した力作ぞろいでした。選挙する一人ひとりが、子どもたちの願いを心に刻み、明るい選挙を実行しましょう。

入賞者は次のとおりです。()の学年は昭和五十四年度現在です。

特選

吉盛 一彦(帖佐小五年)

茶園 律子(重富中三年)

有川 洋海(重富中三年)

入選

窪田 洋子(重富小六年)

楠田 秀史(重富中三年)

原田 みな子(重富中三年)

西 由美子(帖佐中三年)

式典の中で町長は「幾多の苦難の道を一人で一步一步歩いてこられた今日、夫婦としての最大の喜びは健康であったことでしよう。これから楽しい生きがいは、おまごさんたちの良きじいちゃんやばあちゃんであってほしい。また、地域社会があなたたちを必要としている限り人生の経験を生かした英知を出し合って、自分たちの手作りの町を作りましょう」と激励し夫婦の健康を祈念しました。

このあと並木西部落の迫田時義さん夫婦が、金婚者を代表し力強く謝辞を述べられ、晴れの金婚式を迎えた三六組の夫婦に祝詞と記念品を贈り、永年の労をねぎらいました。

11人合格 技能検定試験

鹿児島県職業能力開発協会が毎年実施している技能検定試験に姶良町から11人が国際試験に合格し、合格証書が交付されました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

二級	一級	級
職種		
塗装造園	鉄工（構造物鉄工作業）	
"	鍛金（打出し鍛金工作業）	
"	染色（かせ糸浸染作業）	
"	ブロック建築	
"	塗装（金属塗装作業）	
長沼 隆	川口行雄	平野 豪
柏原 利宣	吉村 弘	下園 弘美
南 重郎	福田 政幸	堀 和人
	塙屋 信敏	平野 豊
	田中 重治	

昭和五十五年四月一日から昭和五十六年三月三十一日までの間に出生・死亡・死産があつて届け出られるかたと、この期間に離婚の届けをされるかたは、「産業」を記入していただくことになります。届け出に使う「届書」は役場窓口に備えてありますので、定められた事項を記入したうえで提出してください。

とくに、職業・産業の書き方については、「出生届・死亡届・死産届・婚姻届・離婚届をされるかたにお願い」が準備してありますのでご参照のうえ、正しく書いてください。

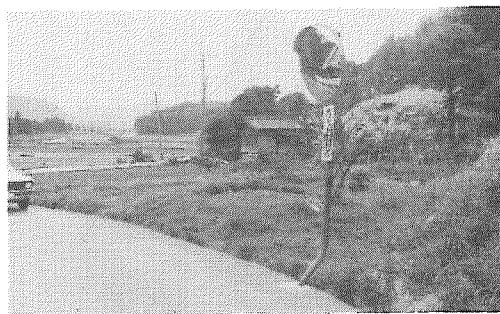
職業を「公務員」「会社員」などと記入しますと人口動態統計の職業分類ができませんので、記入

姶良町農業協同組合が寄贈からロードミラー七基が姶良町農業協同組合に贈られました。

安全対策に役立せてください」と

道路の危険箇所に

ロードミラー



危険箇所に設置されたロードミラー

町に寄贈されました。
町民のみなさんが加入された専
い保険料の還元がありますので、
さっそく、町では交通量の激しい
危険箇所を点検し設置場所等を検
討して見とおしの悪い七カ所に設
置しました。

始良町農業協同組合では、昭和
五十四年度の自動車損害賠償責任
保険の加入実績が、県下で優秀な
成績であったので、県農協共済連
からロードミラー七基が始良町農
業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五十四年度の自動車損害賠償責任

保険の加入実績が、県下で優秀な

成績であったので、県農協共済連

からロードミラー七基が始良町農

業協同組合に贈られました。

合格されたかたがたは次のとおりです。

始良町農業協同組合が寄贈

始良町農業協同組合では、昭和

五